

【各社の概要】

1. JR 西日本

- (1) 商号 西日本旅客鉄道株式会社
- (2) 所在地 大阪府大阪市北区芝田 2-4-24
- (3) 代表者 代表取締役社長 真鍋 精志
- (4) 資本金 1,000 億円
- (5) 設立年月 昭和 62 年 4 月
- (6) 主な事業内容
 - ・ 運輸業
 - ・ 流通業
 - ・ 不動産業
 - ・ その他

2. 神明 HD

- (1) 商号 株式会社神明ホールディング
- (2) 所在地 兵庫県神戸市中央区栄町通 6-1-21
- (3) 代表者 代表取締役社長 藤尾 益雄
- (4) 資本金 22 億 27 百万円
- (5) 設立年月 昭和 25 年 10 月
- (6) 主な事業内容
 - ・ 米穀及びその他穀物の仕入並びに販売
 - ・ 小麦粉、乾麺、砂糖その他食料品の加工及び仕入並びに販売

3. 光洋

- (1) 商号 株式会社光洋
- (2) 所在地 大阪府大阪市西区北堀江 3-12-23
- (3) 代表者 代表取締役社長 平田 炎
- (4) 資本金 1 億 97 百万円
- (5) 設立年月 昭和 48 年
- (6) 主な事業内容 食料品及び日用雑貨品等の小売販売

【グローバル GAP とは】

グローバル GAP は、欧州を中心に世界 100 カ国以上で実践されている GAP (Good Agricultural Practice : 適正農業規範) の世界標準です。グローバル GAP では、農業生産・取り扱いにおける農産物の安全管理手法や労働安全、持続可能な農業を行なうための環境保全型農業実践のためのチェック項目が具体的に定められています。農産物の世界的な流通においては、もはやグローバル GAP の認定取得が取引条件となっており、サプライヤーとして「選ばれる」ための必須要件として求められています。

欧米では、事業リスクを最小化することが小売事業者の標準的な動きとなっています。特に、小売業売上高世界ランキングのトップ 10 にあるような量販店は、国際的な認証規格 (例 : グローバル GAP 等) を取得しているサプライヤーや生産者からの仕入を優先しており、自らの販売チャンネルにおいてリスク・ヘッジできない農産物の取り扱いを排除しはじめています。

グローバル GAP は 2011 年に改訂され、農産物の集出荷・選果場の管理範囲が審査の必須要件となり、農場から出荷までを網羅したサプライチェーン全体におけるマネジメントシステムを評価する事により食品安全リスクを包括的に担保するようになりました。

日本での認証取得実績は未だ少なく、規模だけでなく、農産物の安全管理も途上段階であり、中国、韓国、東南アジア諸国と比較しても、日本におけるこの分野での取り組みが期待されています。